

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 21 日

評価対象事業	評価者	高齢者いきいき課担当課長 小宮 純、伊藤 元敦	
健福-21 高齢者施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。
効果	施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・腰越地域老人福祉センターの整備を進めた。 ・腰越地域老人福祉センター建設工事に係る経費については、継続費年割分を年度内に完了できないため、翌年度へ遞次繰越した。 ・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)等を整備した。 ・小規模多機能型居宅介護事業所のスプリンクラー設置にかかる経費を対象の施設に助成した。 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設準備に係る経費を助成した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	39,331	202,251	当初予算(千円)	457,241			
	国県支出金		15,179	国県支出金	22,589			
	地方債		86,700	地方債	239,800			
	その他		95,957	その他				
	一般財源	39,331	4,415	一般財源	194,852			
事業運営	人員配置数	0.7	1.0	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	5,357	7,826	人件費(千円)	7,875			
	総事業費(千円)	44,688	210,077	総事業費(千円)	465,116			
経費	市民1人当りの経費(円)	252	1,185	市民1人当りの経費(円)	2,630			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	介護事業者のスプリンクラー設置等の施設整備及び施設開設準備に係る経費の助成については、申請に応じた予算の確保が必要である。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		特別養護老人ホームの整備補助金は、その工事進捗率に合わせ金額を決定することから、年度ごとに差異が生じる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		腰越地域老人福祉センターの整備については、27年度に跨る継続事業で、平成28年度に開設された後は維持管理経費が他の事業に移行するため、削減となる。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>腰越地域老人福祉センターの整備については、平成28年度の開設を目指し、着実に整備を進めた。</p> <p>特別養護老人ホームの整備については、工事着手中の事業計画を後押し、早期の開設に向け支援した。また、新たな整備事業計画の公募を行ったが、応募はなかった。</p> <p>小規模多機能型居宅介護事業所のうち、スプリンクラーが未設置であった2事業所に対して、補助金を交付し、スプリンクラーを設置した。</p> <p>平成27年度開設の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所(1事業所)に対して、補助金を交付し、ケアコール端末等の備品を購入した。</p>
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	整備を予定していた特別養護老人ホームは、手続きが終了し造成工事に着手したが、開設を平成28年度に変更して指導していく。また、腰越老人福祉センターの平成28年度の開設に向けた手続き・整備を行う。その他、国の交付金を活用して、既存の小規模多機能型居宅介護事業所におけるスプリンクラー設置を進める。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	整備を予定していた特別養護老人ホームは、平成28年度中の開設を目指し工事を進めている。平成29年度までに整備を図るべく新たな特別養護老人ホームの整備事業者の公募を行ったが、応募者はなかった。スプリンクラー未設置であった既存の小規模多機能型居宅介護3事業所のうち、2事業所がスプリンクラーを設置した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	新たな特別養護老人ホームの整備事業者を再度公募、選定し、鎌倉市高齢者保健福祉計画(平成27年度から平成29年度)に基づき整備する必要がある。スプリンクラー未設置である既存の小規模多機能型居宅介護1事業所のスプリンクラー設置を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	特別養護老人ホーム整備数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画的整備の達成状況の把握	目標値	663	693	773	863		
	実績値	663	673				
	達成率	100.0%	97.1%				
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

■ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	■ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---------------------	--------------------------